

高崎商工会議所 経営発達支援事業
令和4年度事業評価報告書

開催日時：令和5年6月19日（月）午前10時50分から午前11時40分

場 所：高崎商工会議所 議員会議室

出席委員：清水 邦宏（評価委員会委員長 中小企業診断士）
宇津木 金刀也（同委員 高崎市商工観光部商工振興課長）
福島 英男（同委員 日本政策金融公庫高崎支店長）
新井 基之（同委員 群馬県信用保証協会高崎支店長）
＜欠席者なし＞

事務局：石綿和夫（専務理事）
桜井則夫（中小企業相談所長）
三木幸子（経営支援課 課長）
鈴木淳世（経営支援課 係長）

内 容：令和4年度高崎商工会議所「経営発達支援計画」実績報告評価表（別紙）に基づき、各種事業について説明。質疑応答の後、事業に対する評価を受ける。

事業評価： 令和2年3月に経済産業大臣より認定された、高崎商工会議所「経営発達支援計画」については、第2期計画における3年目を迎えた。
貴所「経営発達支援計画」の大きな目標の1つである『新たな需要の開拓』については、隣県地元新聞紙を活用した通販事業の継続実施や各種SNSの効果的な運用に言及したセミナーの開催など、コロナ禍における非対面形式での販路開拓支援に加え、小規模事業者の情報発信力強化を目的とした各種プレスリリース支援事業により、セミナー・個別相談からリリースシートの送付代行まで行っており、その一貫した支援体制および事業内容は評価に値する。
さらに、コロナ禍を経て一層の重要性が増しているDX・デジタル化対応といったトレンドに関する情報提供と意識喚起は、継続的に実施していただきたい。全国的にも先進的な支援事例を多く抱える貴所の事業は、管内小規模事業者の耳目を集めていることから、今後は、SDGs経営やカーボンニュートラルの実現といった時流を抑えたテーマに言及した情報も発信いただけると尚良い。
一方、事業計画策定件数については、前年度事業評価の際に指摘させていただいた「事業計画書の必要性・重要性を再認識させるコンテンツの増加」として、事業計画策定セミナーの回数を増加させるといった取組みを行ったものの、結果として目標値を下回る事となった。

先行き不透明な経営環境が続く中であって、事業計画書の必要性・重要性を小規模事業者に認識させるためにも、集合型セミナーのみならず、経営指導員を中心とする貴所職員によるプッシュ型の経営支援に邁進されたい。また、例年実施されている創業支援事業についても、事業承継を絡めた創業手法に着目するなど、従来の事業にとらわれることなく、創業計画策定件数の増加ならびに創業者の輩出に繋げていただきたい。

徐々に社会経済活動の正常化が進む中、未だ新型コロナウイルス感染症の影響を色濃く受ける小規模事業者も多い。さらには、原材料価格やエネルギーコストの高騰、進まない価格転嫁など、厳しい経営環境が続くことも予想されるため、貴所におかれては、このような状況下において誰一人取り残すことのない、小規模事業者に寄り添った伴走型支援を全課・全員体制で継続されることを期待する。

令和5年 7 月 5 日

評価委員 清水 邦宏

評価委員 宇津木 金刀也

評価委員 福島 英男

評価委員 新井 基之